

## 第6節 県内におけるばい煙発生施設数等の年度別推移

### 1 ばい煙発生施設数の年度別推移

種 類 \ 年 度	22	23	24	25	26
ボ イ ラ ー	2,052	2,064	2,136	2,190	2,228
金 属 溶 解 炉	175	178	179	170	166
金 属 加 熱 炉	171	173	177	176	177
焼 成 炉 ・ 溶 融 炉	75	71	68	68	71
乾 燥 炉	94	96	95	92	97
電 気 炉	23	23	23	23	23
廃 棄 物 焼 却 炉	54	53	55	54	50
銅・鉛・亜鉛精錬用施設	3	3	1	1	2
塩素・塩化水素反応施設	59	57	57	44	48
ガ ス タ ー ビ ン	87	86	89	96	99
デ ィ ー ゼ ル 機 関	282	287	272	281	314
そ の 他	63	63	58	58	63
合 計	3,138 (100)	3,154 (101)	3,210 (102)	3,253 (104)	3,338 (106)

注 ( ) は、22年度を100とした指数である。

## 2 燃料使用量の年度別推移

(単位:千 kL)

燃料の種類		22	23	24	25	26
A	重油	198 (100)	186 (94)	169 (85)	156 (79)	154 (78)
C	重油	178 (100)	365 (205)	396 (222)	308 (173)	255 (143)
	原油	130 (100)	446 (343)	392 (302)	485 (373)	251 (193)
	石炭等※	604 (100)	694 (115)	731 (121)	732 (121)	742 (123)
	小計	1,110 (100)	1,691 (152)	1,688 (152)	1,681 (151)	1,402 (126)
	灯油	330 (100)	289 (88)	266 (81)	252 (76)	221 (67)
	軽油	336 (100)	325 (97)	307 (91)	318 (95)	304 (90)
	ガソリン	552 (100)	526 (95)	494 (89)	486 (88)	466 (84)
	合計	2,328 (100)	2,831 (122)	2,755 (118)	2,737 (118)	2,393 (103)

注1 この表は、石油連盟及び県内事業所の資料を基に集計したものである。

2 ( ) は、22年度を100とした指数である。

3 石炭等は、石炭及び石油コークスの使用量をそれぞれ重油相当に換算し、これらを合計した量である。

## 3 自動車保有台数の年度別推移

(単位:台)

用途、種類		22	23	24	25	26
貨物用	普通車	26,262	26,076	25,821	25,788	25,814
	小型車	41,650	40,690	39,588	39,066	38,440
	被けん引車	903	932	936	964	990
	軽自動車	93,299	92,459	90,954	89,745	88,288
乗合用	普通車	824	813	804	801	806
	小型車	1,346	1,322	1,316	1,287	1,272
乗用	普通車	155,204	158,795	161,863	165,596	168,260
	小型車	284,184	281,671	277,060	270,730	264,387
	軽自動車	232,313	239,377	245,826	258,725	267,582
	特種用途車	18,162	19,435	22,013	19,640	19,631
	二輪車	20,797	20,585	20,880	21,225	21,723
	総数	874,944	882,155	887,061	893,567	897,193

注 北陸信越運輸局富山運輸支局調べによるもので、それぞれ年度末現在の台数である。